



◎ 学校長あいさつ 校長 鈴木 信也

コロナ禍にあって、その感染症対策に万全を期し、本校の教育活動を展開していくという厳しい課題に取り組む2年目になりました。地域の皆様には日頃からご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度も、皆様と共に地域の防災拠点となるべく、昨年度開催できなかった合同避難訓練を、7月上旬に本校にて実施予定しております。関係各所の皆様と十分な打ち合わせを重ねて、安心と安全が担保できるより実地的な訓練にしていきたいと思っておりますが、コロナ禍で先行きが不透明です。（校長としては工夫して実施したいのですが。）今年度も、皆様の期待に応える学校づくりを一層推進して参ります。よろしくお願いいたします。

◎ 第16期生236名を迎えて

新年度にあたり、この4月に本校第16期生236名の新入生を迎えました。新型コロナウイルス感染症予防の観点から対面式などの新入生行事は縮小されてしまいましたが、密にならないよう対策をおこなった上で、部活動紹介が体育館で催されました。



その後、部活動体験期間の約2週間を経て多くの新入生が希望の部活動に入部を終え、授業にも慣れて青梅総合での新生活を順調にスタートさせているところです。ただ4月27日・28日に御岳山の宿坊等で予定されていた新入生行事である「フレッシュマン・キャンプ」は、緊急事態宣言により予定の変更を余儀なくされ校内でできる範囲での実施となりました。その活動の一つとして、“バースデーライン”が体育館で行われました。バースデーラインとは、1年次全員が、言葉を使わずジェスチャー等でコミュニケーションを図り、誕生日順に一列に並ぶ活動です。写真は一見して密ですが、言葉を話すことは禁じられているため実施することができました。時間はかかりましたが、互いにジェスチャーで意思疎通を図り見事、誕生日順に並ぶことができました。また教室では、総合学科の特色である2年次からの多くの選択授業について、自分の進路を意識しながらクラスメイトと共に時間割を作成しました。“自分でつくる、自分の未来”を合言葉に、総合学科の強みを生かした学校生活を送れるよう校内であって真剣に取り組んでいました。



◎ 分散登校・オンライン授業

3度目の緊急事態宣言にともない、本校では時差登校・分散登校を実施し、分散登校により自宅学習となる日にはオンライン授業（PC等を利用した同時双方向の遠隔授業）や、パソコンやスマートフォン等で利用することができる教育プラットフォームClassiを利用したオンデマンド学習（動画配信）や課題配信が行われています。コロナ禍で様々な活動が制限される中、ICT等を利用することによって教育活動を継続する工夫をおこなっています。



オンライン授業の様子
教室には先生一人ですが、パソコンを通じて各家庭とつながっています。

◎ 本校農場ではトウモロコシ、城前農場ではまもなく田植え

4月中旬から下旬にかけて1年次全員が必修科目「自然と農業」の授業において、本校農場でトウモロコシの種まきをしました。トウモロコシは早くも芽を出してすくすくと育っています。また5月中旬には、城前農場で田植えも始まる予定です。



ホームページ

<http://www.ome-sogo-h.metro.tokyo.jp/>



本校ホームページやツイッターでも
情報を発信中です！



<https://twitter.com/omesogoz>
Twitter